



連携いいわい

令和7年5月

第47号

岩手県立磐井病院

令和7年度 年頭あいさつ

岩手県立磐井病院長 阿部 隆之

2006年に磐井病院が新築移転となって早くも19年が経過し、この間、医師や看護師、他の職員の顔ぶれ、医療を取り巻く環境も大きく変わりましたが、当地の急性期医療を支える中核病院として市民の健康に貢献できていることは、連携している皆様のご協力によるところが大きく、当院職員を代表して、改めて深く御礼を申し上げます。



さて、昨年2024年はご存知のとおり、医療機関にとっては未曾有の苦境に見舞われた年でした。診療報酬改定では、本体は0.88%のプラス改定ではありましたが、物価高、診療材料費の高騰、高額薬剤の使用、最後に職員給与の引き上げ勧告がやってきて、診療報酬プラス部分を大きく吹き飛ばす支出の増加にあえいだのは当院ばかりではないでしょう。今後、この苦境を乗り越えるために必要なことが、「機能分化と連携強化」と言われています。端的に言えば、その病院、クリニック、介護施設それぞれで、各々の特徴を出し合い、できる分野により特化し、患者さんを最適な場所で治療をしてあげることになるでしょう。当然ながら、当院は両磐地区の急性期病院として、手術や救急医療といった急性期治療にこれまで以上に邁進する所存でございます。つきましては、回復期、慢性期治療においては、連携する皆様のご協力なくしては、当院の運営もままなりません。是非ご協力をお願いいたします。

昨年策定した診療理念、「地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します。」を実践するためには、連携する皆様と、顔の見える、良好で素早い意思疎通のできる関係、また、より詳細な情報提供ができるシステム構築などを、さらに進めていかなければなりません。課題もありますが、皆様とともに、この地区の医療機関が一丸となり、各個が住民に最適な医療サービスを提供していくことが、最終的には、経営的にも持続可能な運営ができると信じております。

院長としては、住民だけでなく、医療機関、介護施設の皆様にも、親しみやすい、垣根の低い病院を目指していますので、当院への質問、要望などがございましたら、気兼ねなくいつでも連絡していただければ幸いに存じます。この荒波を皆様と一緒に船で乗り切っていくことを切に願っています。

<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さん中心の、質の高い、安全な医療を提供します。

<岩手県立磐井病院 診療基本方針>

1. 患者さんの安全性を最優先とした医療を行います。
2. 患者さんの心理的安全性に配慮して医療を行います。
3. 十分な説明を行い、同意に沿った医療を提供します。
4. 多職種が協働し、最新で専門性の高い医療を目指します。
5. 地域の施設と連動し、患者さんの診療・生活をサポートします。
6. 最新技術を駆使して、利便性のよい医療を目指します。

Contents

●院長 年頭あいさつ・・・1

●認定看護師から

『認知症の人の意思決定支援』・・・2

●新任医師・研修医紹介・・・3・4



認知症の人の意思決定支援

認知症看護認定看護師 鈴木美香

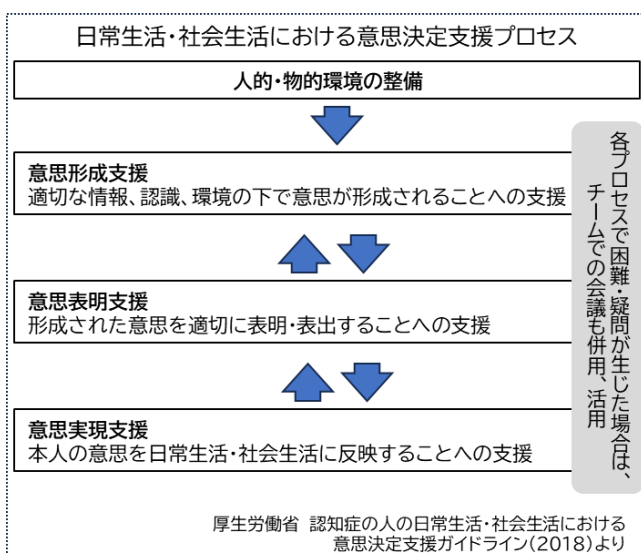
2024 年に認知症看護認定看護師になりました鈴木美香です。現在は 4 西病棟に勤務し、週 1 回、院内の認知症ケアラウンドに参加しています。

先日、認知症の A さんが胃癌の内視鏡治療のために入院しました。A さんは「なんで入院することになったのか分かりません」「娘は私が入院することを知っていますか」と繰り返し尋ねていました。外来で娘さんと医師が話をしていたことは覚えていましたが、話の内容は覚えていませんでした。

認知症の人は、記憶障害や言語障害等の言語的なコミュニケーション能力が低下するため、医療行為を受けるか受けないかを判断し、他者に自分の意思を伝えることが難しくなっています。そのため、医療行為を受ける本人ではなく、家族が意思決定することがあります。しかし、情報の伝え方や環境を整えることで、認知症の人でも意思決定をすることができます。厚生労働省の「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」(2018)では、認知症の人の意思決定能力を適切に評価しながら、本人が意思決定できるように支援することが、認知症の人を支える医療・介護従事者である私たちに求められています。

意思決定支援には、意思形成支援、意思表示支援、意思実現支援の 3 つのプロセスがあります。意思形成支援は意思表示、意思実現に繋がる大切な部分であるため特に重要で、認知症の人が情報を正しく理解し、判断できているか確認する必要があります。

A さんには入院初日に入院から退院までのクリニカルパスを説明しましたが、今日の日付も分からず、検査等の情報量が多く、混乱してしまいました。A さんに情報を理解していただくために「〇月〇日 胃カメラがあります。食事は朝から取れません」というように、一日の予定を 1 枚の用紙に簡易的に記載し、日めくりカレンダーのように可視化して情報提供しました。



A さんは「今日は検査があるから、ご飯はでないんだ」とその都度、看護師と予定を確認しながら治療を行い、合併症もなく予定通りに退院することができました。

認知症の人は、症状の進行により言語的なコミュニケーションが難しくなってきます。コミュニケーション方法を工夫することで本人の意思を尊重した療養生活を送ることができます。

認知症がある人の療養生活について困っていること、悩んでいることがありましたら、お問い合わせください。

2025年度新任医師の紹介



(しのざき やすはる)

氏 名 : 篠崎 康晴
役 職 名 : 外科医長
出身大学 : 東北大学

所属学会 : 外科専門医

専門分野 : 食道

ひとこと : 一関の医療に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります。



(まえひら たく)

氏 名 : 真栄平 卓
役 職 名 : 外科医師
出身大学 : 東北医科薬科大学

所属学会 : 日本外科学会、日本腹部救急学会

専門分野 : 外科一般

ひとこと : 地域の皆様の健康の一助となるよう精一杯がんばります。



(ごとう ひろき)

氏 名 : 後藤 悠樹
役 職 名 : 整形外科医長
出身大学 : 山形大学

所属学会 : 日本整形外科学会、日本膝関節学会

専門分野 : 膝関節

ひとこと : 岩手県での勤務は2回目になります。岩手県の医療に貢献できるよう尽力いたします。



(のぐち いっき)

氏 名 : 野口 一起
役 職 名 : 整形外科医師
出身大学 : 東京医科大学

所属学会 : 日本整形外科学会、東北整形災害学会

専門分野 : 整形外科一般

ひとこと : 岩手の医療に貢献できるよう頑張ります。



(さかい ひろ)

氏 名 : 酒井 鴻
役 職 名 : 整形外科医師
出身大学 : 東北医科薬科大学

所属学会 : 日本整形外科学会

専門分野 : 整形外科一般

ひとこと : まだまだ未熟者ですがよろしくお願いします。



(すずき ゆうき)

氏 名 : 鈴木 優樹
役 職 名 : 整形外科医師
出身大学 : 東北大学

所属学会 : 日本整形外科学会

専門分野 : 整形一般

ひとこと : 地域の方々にお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いします。



(はこざき たかや)

氏 名 : 箱崎 貴哉
役 職 名 : 第2形成外科科長
出身大学 : 岩手医科大学

所属学会 : 日本形成外科学会、日本創傷外科学会

専門分野 : 形成外科一般

ひとこと : できることを精一杯やって、できないことにも挑戦していければと思います。



(まちだ てつき)

氏 名 : 町田 哲樹
役 職 名 : 形成外科医長
出身大学 : 岩手医科大学

所属学会 : 日本形成外科学会、日本創傷外科学会

専門分野 : 形成外科一般

ひとこと : 地域の皆様に貢献できるよう誠心誠意診療に臨みます。



(せきぐち きえ)

氏 名 : 関口 季詠
役 職 名 : 泌尿器科医長
出身大学 : 岩手医科大学

所属学会 : 日本泌尿器科学会、日本泌尿器科腫瘍学会

専門分野 : 泌尿器科一般

ひとこと : 患者様に寄り添い地域医療に貢献できるようにがんばります。気軽に相談ください。



(ささき たけし)

氏 名 : 佐々木 豪
役 職 名 : 循環器内科医師
出身大学 : 山形大学

所属学会 : 日本内科学会、日本循環器学会

専門分野 : 循環器内科一般

ひとこと : 両磐医療圏の循環器医療に少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお願いします。



(さいとう ゆうたろう)

氏名：齋藤 雄太郎
役職名：耳鼻咽喉科医長
出身大学：東北大学

所属学会：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

専門分野：耳鼻咽喉科一般

ひとこと：地域の皆様に信頼される診療を心がけ、耳、鼻、のどの不調に丁寧に向き合いながら一人一人に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。



(てらうち たかひろ)

氏名：寺内 貴廣
役職名：第2脳神経内科科長
出身大学：岩手医科大学

所属学会：日本神経学会、日本学会、日本脳卒中学会

専門分野：神経免疫

ひとこと：本地域の医療を支えるべく頑張ります。



(すずき いっせい)

氏名：鈴木 一誠
役職名：婦人科内視鏡科長
出身大学：東海大学

所属学会：婦人科内視鏡手術、周産期医療、女性医学

専門分野：婦人科一般

ひとこと：4年ぶりに戻って参りました。地域の産婦人科医療に貢献できるように精進します。

2025年度研修医の紹介

(たかはし ゆうたろう)

氏名：高橋 佑太郎

役職名：研修医

出身大学：山形大学

ひとこと：一生懸命、丁寧に仕事に取り組みます！！

(まつした ゆうき)

氏名：松下 雄輝

役職名：研修医

出身大学：秋田大学

ひとこと：地域医療に貢献できるよう全力を尽くします。

(かくたに ひろあき)

氏名：格谷 大文

役職名：研修医

出身大学：岩手医科大学

ひとこと：毎日が学びの連続ですが楽しみながら頑張っています。

(やましろ まさたか)

氏名：山城 将貴

役職名：研修医

出身大学：岩手医科大学

ひとこと：患者さんのお役に立てるよう日々精進してまいります。



(ふじた りんべい)

氏名：藤田 倫平

役職名：研修医

出身大学：秋田大学

ひとこと：新しい環境で、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが日々成長できるよう努力していきます。

(おばら ゆういちろう)

氏名：小原 悠一郎

役職名：研修医

出身大学：岩手医科大学

ひとこと：医師としての自覚を持ち、自分に出来ることを精一杯頑張りたいと思います。

(まるやま ゆきえ)

氏名：丸山 幸恵

役職名：研修医

出身大学：岩手医科大学

ひとこと：至らぬ点が多くあると思いますが、精一杯努力します。どうぞよろしくお願いいたします。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17

電話 (0191)-23-3452

Fax (0191)-23-9691

連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室

病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>

公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>